法人 協調會

有々社前でも

警戒線突破さる

川崎の騒に勢ひ込んだ

三菱罷業團の神詣で

三菱罷工團でも宮詣りを計畫し廿九日午前七時までに集會所の會下山に集るもの千名餘之なら大した事もあるまいと楠原湊川署長は幹部上に立つて解散を命じたので幹部は長田神社参拜を宣し漸々下山せんとする折柄何處に集合して居たものか合衆縦々として登山し其數忽ち萬餘と算せられた、之より一同は徒歩で長田神社に赴き神前に於て君ケ代を三唱祈願文を捧讀し勞働歌を歌ひ勞働者萬歳を高唱して再び徒歩で東尻池の工場町を練り歩き和田宮神社に到着した、同社でも祈願文を捧讀したが川崎造船所手前における騒擾の報が傳はつたので罷工團は甚だしく昂奮し更に勢ひ込んで湊川神社に向つたが兵庫入江橋傍に兵庫署の警官隊が非常線を張り湊川町一丁目の川崎罷工團の騒ぎがあつた跡を通過せしめては一大事と一行を阻止せんとしたが果さず、島上町電車通りに出で川崎負傷職工の收容された大國病院の前に集まり警官隊との衝突の急報を聞き一層昂奮し誰云ふとなく「さあ行け」と號令するや逆に「ワッショ／＼」と鯨波の聲を揚げ駈足で川崎造船所に赴く曲り角で更に憲兵警官に阻まれ左折して湊川新開地を駈抜け多聞通を右折して楠公社に到着したが警官隊は表門に警戒線を張つて門内に入れじと阻み罷工團は入門させよと迫り小競合を始め電車通りは一般通行は全く止まつて大混雑を呈した時しもワッと云ふ掛聲が起つたと思ふと警戒線は忽ち突破されて入門、警官は之を押出す傍に向ひ騎馬巡査がかけつける、湊生橋署から數十名の應援が來る斯くする内に形勢惡化と見た警官は遂に入門を許したので事なく参拜を終り正午解散したが此表門前に於ける小競合中卒倒者及打倒れて負傷した者數名を出した

3

二十九日午後七時半頃警官隊百餘名川崎争議團本部ヲ襲ヒ
（小括間の騒）幹部倉外務部及本部ニ在リ集レルモノ悉クヲ検束シ本部ヲ
捜索シ警官隊ノ衝路ハ横束ニテ埋マリ壮絶ヲ極メタリ
争議本部ハ正服警官及コン棒或ハ鉄製ノ道具ヲ以テ之ヲ打持シ居ル
私服警官ニ依リテ占領セラレ候ニ物凄キ有様ナリ。
一方友愛会神戸支部ニ至レバ此處モ同様加川氏ヲ始メ外務部
悉ク検挙セラレ本部ニハ二人（唯老人及筆者キ書記ノ）ノ留守シ居ルノミナリ。今其ノ模様ヲ見ルニ
ニ来会セルモノハ有無ヲ云ハセズ悉ク検挙シ、加川氏ノ如キハ殊ニ悲惨ナル
有様ニテ千ニ検挙セラレ、外務部ノ如キモ警官ノ為メニ随分非常
目ニ逢セル模様ナリ、余ガ訪問シタル際モ検足セラレシ故早々
引取ラレタシト注意セリ依テ余ハ余ニ手ヲ下サバ天罰忽チ下ルン
故其ノ人肥ハ御免ナリト言ヒ増収種々頭取ルヘアリタリ。老人ハ

財團 協調會